

i-Construction勉強会に参加しました！

2016年度に国が導入したi-Constructionへの対応を図るため、小樽建設協会主催による勉強会が平成30年7月12日・18日に開催され、当課からも7名の職員が現地での勉強会に参加しました。

現地での勉強会は、京極町で当課が実施中の道営畑地帯総合整備事業の工事現場において、無人航空機(UAV)及び地上型レーザースキャナー(TLS)を用いた工事測量についてコンサルタントの担当者から説明を受け、その後、実際にドローン等の操作を体験しました。

○開催挨拶



○無人航空機(ドローン)の操作説明・体験



○工事測量のため上昇するドローン



○地上型レーザースキャナー工事測量・操作説明



○NETIS ブルドーザの操作説明



当現場では、NETIS(新技術情報提供システム)を搭載した施工機械で工事を実施しています。

i-Construction(アイ・コンストラクション)とは？

国は、建設現場の生産性向上に向けて、測量・設計から施工、さらに管理にいたる全プロセスにおいて、情報化を前提とした新基準を2016年度に導入しました。この導入は、生産性の向上だけではなく特に人手不足が深刻な建設業界の人手不足対策として従来からいわれている3K「きつい、危険、きたない」を「給料が高い、休暇が取れる、希望が持てる」新3Kに変えていき職場環境をよくすることによって、人手不足も解消していこうという効果も狙っています。